

不登校対策支援プラン

更新日 4 月 5 日

プランの策定にあたって

県内において不登校児童生徒数は増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

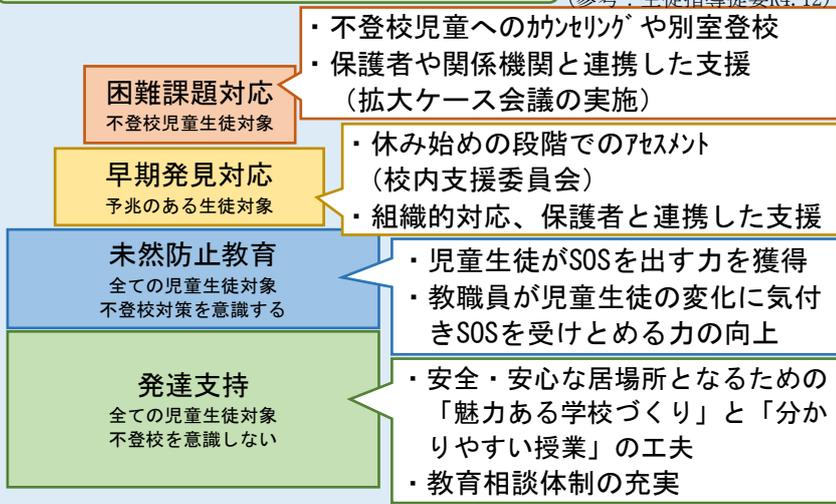
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 これまでに予兆が見られた児童についての観察と支援を全教職員共通理解のもとで行う。
- 2 不登校対策チーム会議「蔦沢っ子を語る会」を定期的実施し、全児童の様子を全教職員で共通理解する。
- 3 不登校の予兆を見逃さず、変化のある場合は、SCや関係機関等と連携し、早期発見・早期対応に努める。

不登校対策における重層的支援構造

(参考：生徒指導提要R4.12)



不登校対策チーム構成

管理職、特別支援コーディネーター、生活指導担当、担任、養護教諭、スクールカウンセラー (SC) 等

不登校児童生徒支援関係機関等

宍粟市教育委員会、宍粟市青少年育成センター、しそく学校サポートチーム、教育支援センター、宍粟市家庭児童相談室、学校評議員会 等

4つの層での取組 等

発達支持

- ・授業の中で、安心して学習ができる集団づくりをする。
- ・縦割り班活動により、仲間を大切にする人間関係の醸成を促す。

未然防止教育

- ・SCと担任が連携し、相談できる力を身に付けるための特別授業を実施する。
- ・道徳を中心に自分や周囲の人を大切にする心情を養う。

早期発見対応

- ・健康観察、個別面談、ICTを活用した発信等により、小さな変化に気づく。
- ・学期ごとにQ-Uアンケートの実施と分析を行う。

困難課題対応

- ・校内に別室を設置し、安心して過ごせる場所を確保する。
- ・保護者や関係機関との連携を密にし、当該児童の児童の支援にあたる。